

令和元年度（横浜国際）不祥事ゼロプログラムの実施状況

○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
法令順守意識の向上	職員行動指針を遵守し、公務員としての自覚を持った行動をとる。	○公務員として自覚を持ち、学校の内外を問わず県民や地域の方々から信頼される行動を常に心がけ、職務を遂行するように研修会などで周知した。
わいせつ・セクハラ行為の防止	わいせつ・セクハラ行為を未然に防止する。	○外部講師を招いて研修会を実施し、教職員にことの重大性を再認識させた。
体罰・不適切指導の防止	体罰・不適切指導を未然に防止する。	○体罰・不適切指導について研修会を行い、生徒に対して人権に配慮した適切な指導をすると同時に体罰・不適切指導の未然防止を徹底した。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成と取扱いに係る事故防止	点検体制を整え、業務を確実にを行い、適切な処理をしてミスのない書類作成を行う。	○時間に追われることがないように計画をしっかりとたて、余裕をもち複数の人数で複数回点検することにより入学者選抜や成績処理など適切な業務を遂行することができた。
個人情報等の管理及び情報セキュリティ対策の徹底	個人情報等の管理及び情報セキュリティ対策の徹底し、個人情報の流出を未然に防止する。	○個人情報の収集については最低限の人数に限定し、生徒及び保護者の承諾をとり、個人情報の保護や管理を徹底した。
交通事故、酒気帯び運転の防止と交通法規の遵守	飲酒運転禁止の徹底、交通法規の遵守による交通事故を防止する。	○年末年始や年度の変わり目を中心に交通事故・交通違反・飲酒運転防止のための研修会を実施し、注意喚起を行った。
業務執行体制の確保	教科及びグループ業務の情報共有、業務体制を推進する。	○教科会やグループ会議を定期的に行い、情報共有に努めた。個人に業務が偏らないように役割分担を明確に行い、業務の均一化を図った。
会計事務等の適正な執行	私費会計に関する事故を未然に防止する。	○各部署の会計担当者を集め、研修会を開催し、前年度の反省事項の確認や適切な会計処理の手順などを再確認した。

○ 令和元年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和2年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

令和元年度は、毎月の定期的な不祥事防止会議だけではなく、必要に応じて朝の打合せでもテーマを絞って注意喚起を行った。職員も公務員としての自覚した対応をすることができた。特に今年度の重要課題であった法令順守意識の向上については、具体の事例を参考に教職員の意識を高めることができた。

令和2年度は、職員全体に点検業務の意義とポイントを明確にした取組を実施する。特に国際バカロレアコースの開設に伴い、成績処理が複雑になるため、職員の情報共有を徹底して、正確に実施していく。